

社団法人 地盤工学会  
**技術普及委員会**  
 平成20年度第4回議事録

日 時	平成20年 10月 8日(木)13:30~16:30					会 場	JGS会館	
委員長	古屋 弘	○	副委員長	小林 恒三	○	幹 事	原 忠	○
幹 事	竹山 智英	○	委 員	前川 太	○	委 員	白石 保津	×
委 員	石井 建樹	○	委 員	山田 悦子	○	委 員	伊藤 和也	○
委 員	舟橋 景介	○	委 員	北田 貴光	○	委 員	谷本 俊輔	×
委 員	王 林	×	委 員	今井 優輝	○	委 員	水野 健太	○
事務局	古藤田 純	○						
○：出席      ×：欠席      △：未定								

### 報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料1)
  - ・ 山田委員を指名した。
2. 前回議事録の確認 (8/21) (資料20-4-1)
  - ・ 確認された。
3. 平成20第3回事業部会報告(議事録) (8/21) (資料20-4-2)
  - ・ 古屋委員長より要旨説明があり、確認された。
  - 1) 「都市の地盤」出版が理事会で承認された。60周年記念事業にならないか?との打診があったが厳しいとの見込み。
  - 2) 関西支部から「設計用地盤定数の決め方-岩盤編-」インターネット講習会の要望を受け、実施することとなった。
4. 平成20年度第5回理事会報告 (9/26) (資料20-4-3)
  - ・ 古屋委員長より要旨説明があり、確認された。
  - 1) 地盤工学会のHPが来年度よりリニューアルされる。事業部からの要望通り、トップページに講習会とショッピングカートのリンクが掲載されている。
  - 2) 第43回地盤工学研究発表会(広島大会)で黒字となり、広島コンベンションビューローからの補助金300万を返却する。
  - 3) 第44回の地盤工学研究発表会では、座長の年齢制限の撤廃、座長2人制を復活させる。若手にも座長を経験させようという意図が含まれる。
  - 4) 講習会時の司会料支払いに関しては、理事会より却下された。
5. 平成20年度第2回創立60周年記念事業委員会議事録案 (9/8) (資料20-4-4)
  - ・ 古屋委員長より要旨説明があり、確認された。
  - 1) 担当やタイムスケジュールなど、これから具体案を検討していく。
  - 2) 記念事業として事業部にも打診があるかもしれないとのこと。
6. 講習会開催報告および収支報告 (資料20-4-5)
  - ・ 8月および9月開催の4件について古藤田事務局員より報告があり、確認された(表-1参照)。
  - 1) 「実務における圧密沈下予測とその対策技術講習会」は予算立てをしていなかった。
  - 2) 「わかって使うFEM」のコピー費を「実務における圧密～」に計上してしまった可能性があるため、経理と相談し対処することのこと。
  - 3) 「わかって使うFEM」では講師を一人減らした。

表-1 8月及び9月開催の講習会速報

講習会名	会場	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率(%)
	開催日	予算(円)		実績(円)		実績の収支差見込み(円)		
実務における圧密沈下予測とその対策技術講習会	JGS会館大会議室	40	14	0	0	-	54	-
	8月22日	-		690,000		281,426		
第2回実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会	JGS会館大会議室	24	10	0	0	37	34	92%
	9月3,4日	1,113,000		964,000		409,982		
わかって使う FEM 講習会	JGS会館大会議室	17	5	3	0	18	25	138%
	9月24-26日	1,000,000		1,400,000		728,442		
GISの防災・環境への適用講習会	JGS会館大会議室	19	11	1	0	42	31	74%
	9月30日	395,000		335,000		81,710		
今年度累計(4月～9月)		11,151,000		8,497,000		5,791,894		

## 7. 事業部一般会計収支報告

(資料20-4-6)

- ・ 古藤田事務局員より報告があり、確認された。
- 1) 当月までの実績収入累計 (11,151,000) が予算収入累計 (8,497,000円) を上回っている。半期を終え、好調ではあるが、9月より参加人数が減少傾向にある。

## 審議事項

## 1. 平成20年度技術講習会

## 1.1 進捗状況

(資料20-4-7)

- 1) 海外工事・国際協力講習会 (11月開催予定) : 伊藤委員
  - ・ JICAでは難しい旨、海外建設協会・国際協力銀行を紹介していただいた。こちらで適任者を探していただいているものの、決定していない。
  - ・ 前川委員より、京大の木村亮教授にケニアでの教育について語っていただくのはいかがか、との意見が出た。前川委員より木村教授に打診していただくことになった。
- 2) 基礎構造物の設計に関する新技術・新工法講習会 (12月開催予定) : 船橋委員
  - ・ 講師の調整はほぼ完了した(講師一人変更の可能性あり)。あとは日程調整のみ。12月あるいは1月に開催予定。
- 3) シールドトンネル工事の設計・施工講習会 (12/18開催) : 石井委員
  - ・ 12月18日に開催が決定した。
- 4) 山岳トンネル工法の調査・設計から施工まで講習会 (12月開催予定) : 谷本委員
  - ・ 前年度は半日で6コマとボリュームの多い講習会だったため、今年度は0.5日から1.0日への変更としたが、講師らが難色を示しているとのこと。現在交渉中。
- 5) 基礎構造物の信頼性設計法講習会 (1月開催予定) : 船橋委員
  - ・ 道路関係のみ断られ続けているとのこと。NEXCO中央研究所の豊田氏に、古屋委員長から打診していただくこととなった。
- 6) 地盤防災のための基礎知識 (他分野から見た地盤防災) 講習会 (1月開催予定) : 王委員
  - ・ 王委員が欠席のため、進捗は後日確認。
- 7) 近接工事の調査・設計・施工技術 (2月開催予定) : 今井委員
  - ・ 建築学会で同内容の講習会を10月に開催するため、地盤工学会で2月に開催する旨の可否を取ったところ”宮崎先生に一任します”との意見がほとんどだった。講師全員の回答を待つて調整を行う。

- 8) 建設・産業副産物の地盤工学的有効利用講習会（2月開催予定）：石井委員  
 ・ 港研の菊池氏に再度打診し，取りまとめ役をお願いしてから講師選定を行う。

## 1.2 開催決定

(別添資料2~4)

- ・ 古藤田事務局員より報告があり，確認された。
- 1) 「液状化を考慮した地盤と構造物の性能設計講習会」については，応募人数が多数のため，会場を日大理工学部(駿河台校舎：1号館)に変更して開催する。

## 1.3 アンケート集計結果（8月，9月）

(別添資料5)

- ・ 古藤田事務局員より報告があり，確認された。
- 1) アンケート結果を有効活用して，来年度は貴重なご意見に配慮した講習会を目指そうと，古屋委員長より各委員への要望があった。

## 2. 平成21年度技術講習会

### 2.1 講習会テーマ案の検討

(資料20-4-8)

- ・ 古屋委員長より，10月末までに次年度予算案(第1次)の提出のため，来年度講習会を検討する必要がある旨の説明を受け，来年度講習会テーマについて検討した。
- ・ 提出された来年度講習会テーマ案(新規)，今年度講習会，新刊本講習会，地盤工学会誌の連載講座の中から来年度の講習会第1次テーマ(案)を決定した。また，それぞれのテーマに対し，コースの分類を行った。決定した講習会テーマ(案)は別紙表-2を参照。

### 2.2 H21コース制に関する検討

(資料20-4-9)

- ・ 今井委員より，コース制改変案について説明された。前回までに提案されていたように，基礎ポイント+応用ポイントに分離した案について検討したところ，同じ講習会を受講しても，コースによってポイントに差が生じるなど，問題点が明瞭になった。
- ・ 小林副委員長より，ポイント設定は簡単で明瞭であるべきとの意見が出された。
- ・ コース制改変WG(今井委員，竹山委員，船橋委員，水野委員)で再度検討を行い，その案を叩き台として次回技術普及委員会でも検討する。

## 3. 講習会オンデマンド化に関する検討

(資料20-4-10)

- ・ 小林副委員長(WG主査)より要旨説明があり，確認された。
- 1) 3つの仮定(受講人数:全体の1%，金額:1,000円/1h，学会と業者の配分:4:6)に基づき検討した結果，オンデマンド化を進めるという方向で10/31の理事会で報告する。
- 2) 完全業者委託の形で運営することにより(学会は課金システム運用のみ)，事務局の労力が解消される。また業者側がすべての原価負担とし，学会の債務負担はない。
- 3) 年間5本(定番型:2本，期間限定型3本)を目処に，毎年オンデマンド化していく。今後10年間の収益予測を行った結果，2,080万円となった。
- 4) CPDポイントについては自己申請のみで賦与する方向で検討しているが，継続教育委員会との調整が必要である。
- 5) 支部アンケート結果によれば，細かい指摘はあるもののオンデマンド化に対して肯定的な意見が多かった。

## 4. JSTWEBラーニング教材作成コンペ応募についての検討 (資料20-4-11)

- ・ 古屋委員長より要旨説明があり，確認された。
- 1) 「地盤防災から人々を守る」というテーマでコンペに応募した(応募締切は10月9日)。  
監修者は東京理科大学の龍岡教授にお願いした。
- 2) 10月10日あるいは14日にヒアリングを行い，22日に結果が発表される。
- 3) 社会基盤の分野は，5点満点中3点としているため，最初からハンディキャップがある。  
今期は6件発注し，1件あたり770万円の予算。倍率は推定2～3倍である。

付記：

- ・ 次回委員会開催日 平成20年12月12日（金） 14:30～17:00 於：JGS会館会議室

## 事業部会(10月8日)への報告・審議事項

報告事項	① WEBラーニングについての検討
審議事項	② H20開催日およびプログラム決定講習会
	③ H21年度技術講習会案
	④ 講習会オンデマンド化に関する検討

以上